

# 保育現場における携帯型ホワイトボードの活用2

～年齢とサイズの関係、効果を高める工夫のポイント～

○ 越智 早智

西村 健一

(香川大学大学院教育学研究科

香川県立高松養護学校)

KEY WORDS: 携帯型ホワイトボード 視覚支援 保育現場

## I 目的

越智 (2016) は、保育現場で発達障害及び気になる子への視覚支援のために携帯型のホワイトボード (Portable White Board: 以下 PWB と示す) が活用され効果を上げている実態を明らかとした。本論では、保育現場における年齢と PWB のサイズの関係、効果を高める工夫のポイントについて明らかにする。

## II 方法

**1 対象**; A 地区の幼稚園および保育所 7 園の保育者 14 名。  
**2 実施方法**; 201X 年 X 月、保育者を対象として保育現場における PWB を使った視覚支援の方法についての研修を行った。研修後、各幼稚園や保育所が任意のサイズ (新書判、A4 判、A3 判) の PWB を購入し実践を行った。X+6 か月後にアンケートを実施し結果を分類した。アンケート内容は、①幼児の年齢と PWB のサイズ、②PWB をより効果的に活用するための工夫 (自由記述) である。なお、本研究で活用した PWB は、リング型のホワイトボード (nu bord: 欧文印刷) であり、各ページに透明シートが添付されている特長がある。

## III 結果

**1 PWB のサイズと幼児の年齢**; 実践対象の年齢と活用した PWB のサイズごとに保育者の人数を分類した。3 歳児では合計 5 人【新書版 (2 人) A4 判 (1 人) A3 判 (2 人)】、4 歳児では合計 6 人【新書版 (1 人) A4 判 (3 人) A3 判 (2 人)】、5 歳児では合計 9 人【新書版 (2 人) A4 判 (4 人) A3 判 (3 人)】という結果であった (図 1)。

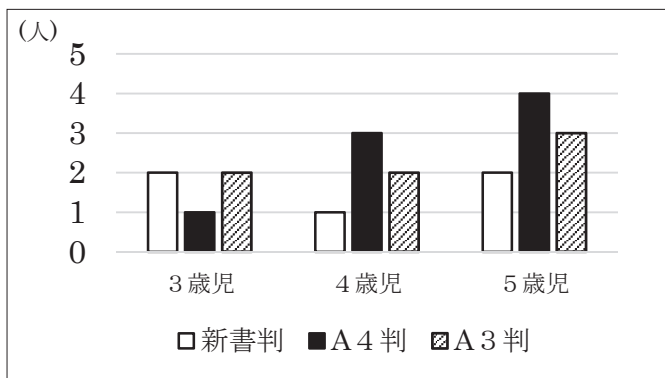


図 1 年齢と PWB のサイズの比較

**2 PWB をより効果的に活用するための工夫**; アンケートの記述を分類した結果、情報量の精選 (3)、興味ある絵等の多用 (3)、配色の工夫 (2)、事前に写真や絵を準備しておくこと (2)、見やすい場所の工夫 (1) となった (表 1)。

表 1 PWB をより効果的に活用するための工夫

工夫	回答数
1. 情報量の精選	3
2. 興味ある絵等の多用	3
3. 配色の工夫	2
4. 事前に写真や絵を準備しておくこと	2
5. 見やすい場所の工夫	1

## IV 考察

結果 1 から、対象児の年齢が上がるに伴い PWB を活用する保育者が増える傾向が見られた。低年齢では PWB に示している絵や文字の内容自体が理解しにくく、効果があまり見られないことも多い。年齢が上がるに伴い PWB の内容から行動へのヒントを読み取れることが増えるため、PWB の活用頻度が増えたのであろう。さらに、就学に向けて指示やルールが複雑化された活動が増える 5 歳児では、言語理解力の低い幼児や注意集中が持続しにくい幼児などへの支援の必要性がより高まる。保育者の困り感の高まりが、5 歳児での活用の増加につながったのではないかと推察される。

また、年齢が上がるに伴い A4 判が活用される傾向が明らかとなった。これは、年齢によって保育者が PWB のサイズを使い分けしているということである。各サイズの PWB における携帯性及び使用場面の特性をまとめた (表 2)。

表 2 PWB のサイズと想定される用途における使いやすさ

	携帯性	個別場面	集団場面
新書判	+	+	-
A4 判	±	+	±
A3 判	-	-	+

+: 使いやすい ±: やや使いやすい -: やや使いにくい

新書判は携帯性に優れており、保育者からは「エプロンのポケットに入る大きさで使いやすい」という感想も寄せられた。また、A3 判はその大きさから集団全体に示す用途に使いやすい。A4 判は新書判や A3 判のような特徴はないものの、様々な用途や場面に応用が利きやすい。5 歳児になると生活の範囲が広がり集団の規模や活動が多様化するため A4 判が活用しやすかったのであろう。

また、PWB をより効果的に活用するために「情報量の精選」「興味ある絵等の多用」を工夫することは大切である。発達障害に類する行動を示す子どもに PWB を活用する場合、提示する情報の質と量の工夫が最重要となる。同時に、保育現場において PWB を活用していく際には、工夫で挙げられた 5 つのポイントについて常に省察をすることが必要であろう。

今回使用した nu bord には透明シートが添付されていた。これにより、挟んだプリントの上から繰り返し文字を書いたり、チェックシートとして活用することが可能となった。透明シートにより保育者の工夫を具現化できる幅が広がり、活用場面が多様になったことも指摘しておきたい。

本論を通じて、子どもの実態や場面に応じたサイズの PWB を導入し、5 つのポイントを工夫することで、幼稚園や保育所において効果的に活用できることが明らかとなった。今後は、小・中学校の教科学習などにおける PWB の効果的な活用についても明らかとしていきたい。

(引用文献) 越智早智・西村健一 (2016) 保育現場における携帯型ホワイトボードの活用 1. 日本特殊教育学会第 54 回大会発表論文集。

(OCHI Sachi, NISHIMURA Kenichi)